

何気なく開いた雑誌(『芸術新潮』一九九七年七月号)を見て、えつという一文に遭遇した。世界的な画家の藤田嗣治と戦没画学生・椎野修の関係だ。

——椎野修は大正二年、鉄道官吏の父・貫一郎と母キヨの間に生まれた。感情の起伏激しく、東京美術学校でも奇行で鳴らした。折りしも帰朝していた藤田嗣治に可愛がられ、藤田の刺青に憧れて、自分も刺青を入れようとしたとか。

藤田画伯がタトゥーを入れていた、かどうか真意の程は分からない。だが、とにかく藤田に憧れていた椎野。

二〇一〇年夏、彼の「ふるさへの想い——椎野修絵画展」を行橋市で開いた。主な作品は、長野県上田市の戦没画学生慰霊美術館「無言館」から借りての展示だった。

この美術館は、画家の野見山暁治と作家の窪島誠一郎が日本各地を廻って戦没画学生の絵を集めたものといわれる。その一人に椎野修がいた。

えつ、という一文は、「無言館」オープンの特集「大いに語れ戦没画学生、未完の夢」の中にあつた。今年、戦後七十年。五年前の「椎野修絵画展」図録を開いてみる。この企画展に一員として関わり、図録に一文を寄せた。一部を抄録する。

——外務大臣井上馨伯爵夫人は声をひそめ、重々しい口調で「成田屋さん。これはまだ内々のことなのですけれど、わたくしどもの邸の茶室開きにお上の行幸を仰ぐことになりました。そのさい、こちらの末松さんのおすすりめもあり、お芝居を天覧に供したく存じております。それで、成田屋さんに末松さんにご相談のうえ、ご準備いただきましたのです」「天覧……でございませうか」団十郎の声が、うわづつている。

これは小坂井澄『団十郎と「勸進帳」』の一節、「誉れ为天覧」の中の記述で、「末松さん」とは、豊前国前田村(現行橋市前田)生まれの末松謙澄(一八五五〜一九二〇)。

伊藤博文の娘婿で、内務、逓信大臣などを務めた人物。鹿鳴館時代の明治十九(一八八六)年、西洋のオペラに對抗できる舞台芸術として歌舞伎に注目し、演劇改良運動を興した人でもある。

明治九年に能楽、十九年に相撲が天覧の栄を受けたことから、歌舞伎界も天皇の観劇を熱望していた。その意向を伊藤と井上が受け、内務省参事官の末松に指示、井上邸茶室移築の披露目に天皇招待が秘密裏に進められた。歌舞伎は、戦国時代から江戸初期にかけて京や江戸に流行った派手な衣装や一風変わった異形を「かぶき者」

藤田嗣治と椎野修

——昭和二十(一九四五)年三月二十七日、一人の画家がビルマ(現ミャンマー)戦線で亡くなった。椎野修、享年三十一。彼は佐賀県鳥栖市で生まれたが、出生届は父の本籍地、福岡県京都郡今川村天生田(現行橋市)に出した。昭和七年、藤田嗣治に師事するなど、彼独自の絵の世界がスタートした。だが、召集令状が届き、ビルマに赴く。戦地からは絵入りの葉書通信を家に送るなど、絵と家族に対する思いは強かった。戦後、郷里の行橋で絵を、との「魂の想い」を叶えることができればと企画した。

椎野が福岡市の小学校図画教員の頃、藤田とは文通が続いていて、昭和十六年に「大東亜戦争美術展」が福岡に来た時、手紙を出すと、「海軍の画見てくれたよし、このノモンハンのほうがまだいい。いずれ福岡へもいく、見てくれ」と返信があり、また「君は地方にいるのだから中央の迎合的な動きには組みたくないがよい」というアドバイスをくれるなど、心の支えとして藤田を尊敬した。

今、椎野作品は、多くの画学生の作品とともに、静かな森の中、十字架形をした瀟洒な「無言館」に展示されている。嗣治と修の師弟関係を探索するのも嬉しい。ところで、椎野にタトゥーを入れる時間はなかったようだ。

(2015・2)

天覧歌舞伎の責任者

——と言い、「かぶき踊り」が慶長年間(一六〇〇年前後)に一世を風靡、これが「かぶき」で、動きや装いを取り入れて歌舞する女の意であり、江戸時代は「歌舞伎」だった。近代になって「歌舞伎」になったといわれる。

明治二十年四月二十六日から二十九日まで、麻布烏居坂の井上馨邸で明治天皇の行幸、皇后・皇太后の行啓、各国公使を招いて歌舞伎の『勸進帳』、『操三番叟』、『仮名手本忠臣蔵』などが上演された。天皇の「近頃珍しきものを見たり。能よりかは分かりやすく、特に高時の舞は面白し」とのお言葉も残り、四日間にわたる天覧歌舞伎は大成功だった。末松は、天覧劇の総舞台監督として各演目や出演者などを決める責任者だったようだ。

その後歌舞伎は、天皇の上覧を賜ったことで社会的地位も向上、我が国を代表する演劇であるという認識を高める役割も果たした。そして国劇の殿堂としての歌舞伎座竣工が明治二十二年になった。

平成十九(二〇〇七)年、明治の天覧歌舞伎二〇年記念公演として『勸進帳』が国際文化会館(旧井上邸跡)で行われ、天皇・皇后両陛下が来臨された。伝統の歌舞伎の技が伝われば、観覧の心も確実に継がれている。

(2015・2)